

長期ビジョン 2050

TX 共創フロンティア

～人・街・知をつなぎ、世代を超えて愛され、進化を続ける鉄道～

TX コラボリング



首都圏新都市鉄道株式会社

1. 策定背景

つくばエクスプレス(TX)は、特別な法律に基づき宅地開発と一体的に整備された、他に例のない地域密着型の鉄道です。開業から20年間、当社は、お客様や沿線の自治体等の皆様に支えられながら、鉄道事業を核として経営を進めてきました。沿線の人口増加に伴い、お客様も増え、沿線まちづくりと鉄道の一体的整備は大きな成果を発揮しているといえます。



今後とも、地域や社会の皆様から愛される鉄道として進化を続け、お客様や沿線の自治体、地域コミュニティ、企業、関係機関等の皆様とコラボレーションした「まち」の進化に貢献していきます。こうした思いから、今般、2050年に向けて目指すべき方向を明確に示し、沿線の皆様と共有し、互いに連携して発展していくことをねらいとして、長期ビジョンを策定しました。



また、本ビジョンでは、経営環境の変化や重要課題を踏まえた、当社の今後の経営方針(基本方針)、基本方針に基づく事業戦略をとりまとめました。これらの戦略を有機的に組み合わせることで、鉄道とそのネットワークを基盤とした広域的な沿線の価値を皆様と「共創」し、イノベーション先導や社会課題の先進解決で社会をリードするフロンティアの実現を目指していきます。



■ 長期ビジョンの位置付け

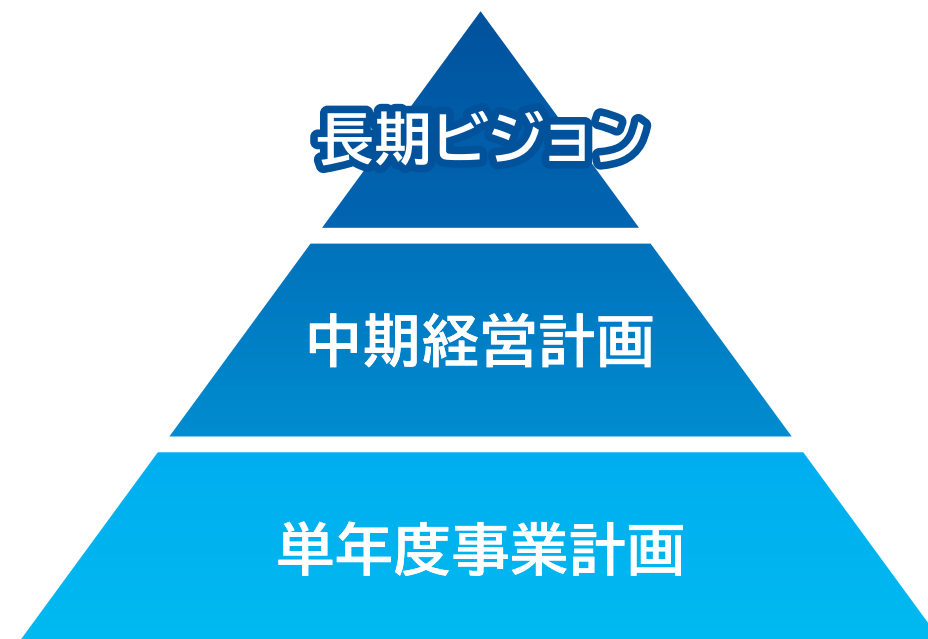
今般策定した「長期ビジョン」は、「中期経営計画（2025～2029年度）」、「2025年度事業計画」の上位に位置づけられます。

本ビジョンの実現を目指し、中期経営計画や単年度事業計画を策定し、それらに基づく取組みを計画的に推進します。

中期経営計画を策定するタイミング等を捉えて、本ビジョンの進捗状況を点検のうえ、必要に応じて、事業環境の変化等を踏まえた見直しを行い、常に社会をリードする長期ビジョンを掲げていきます。

■ 長期ビジョン策定にあたって

本ビジョンの策定にあたっては、政府や沿線の自治体の各種計画やビジョン等を踏まえしました。また、沿線の自治体や企業等の皆様との意見交換会を1都3県で計4回開催のうえ、頂戴したご意見を反映しました。



（意見交換の様子）

つくばエクスプレス (TX) は、国家戦略都市である筑波研究学園都市と都心を結び、首都圏北東部地域の発展を支えていく重要な基盤として、特別な法律に基づき、宅地開発と一体的に整備されました。最高時速130kmの高速運行、道路との完全立体交差で踏切ゼロ、全20駅にホームドア設置、ワンマン運転を支えるATO (自動列車運転装置) 搭載等、最新鋭の技術を結集させた「進化する鉄道」として、2005年にデビューしました。

当社は、沿線の自治体等の出資により、1991年にTXの運営主体として設立され、2005年8月24日の全線一斉開業以来、お客様、沿線の自治体はじめ地域の皆様方からのご支援・ご協力をいただきながら、「安全・安定・安心」輸送を提供するとともに、皆様のライフスタイルをサポートするサービスを提供してきました。



つくばエクスプレス開業 (2005年)



TX-3000系 出発式 (2020年)

略年表はこちらを
ご参照ください



開業から20年、つくばエクスプレス(TX)沿線では、豊かな環境に恵まれた住宅、商業施設、観光・文化拠点、教育・研究機関や企業等が集積し、多様な魅力にあふれた街が形成されています。また、沿線は、東京圏とのダイナミックな連携、豊かな生活がかなう上質な環境、沿線人口の増加が当面継続する可能性等の共通したポテンシャルを有しています。TXが日常生活に浸透した重要なインフラとなり、沿線が発展し、「進化する鉄道・進化するまち」を体現しています。

当社は、今後とも、長期的な人口減少等の変化する社会に柔軟に対応しつつ、より高次元の「安全・安定・安心」の鉄道サービスを追求し続けます。また、沿線に暮らし、働き、訪れる人々の交流、そして沿線の街にある最先端の科学技術、上質な文化、スポーツ、豊かな自然環境等との交流による新しい価値の創造に貢献していきます。

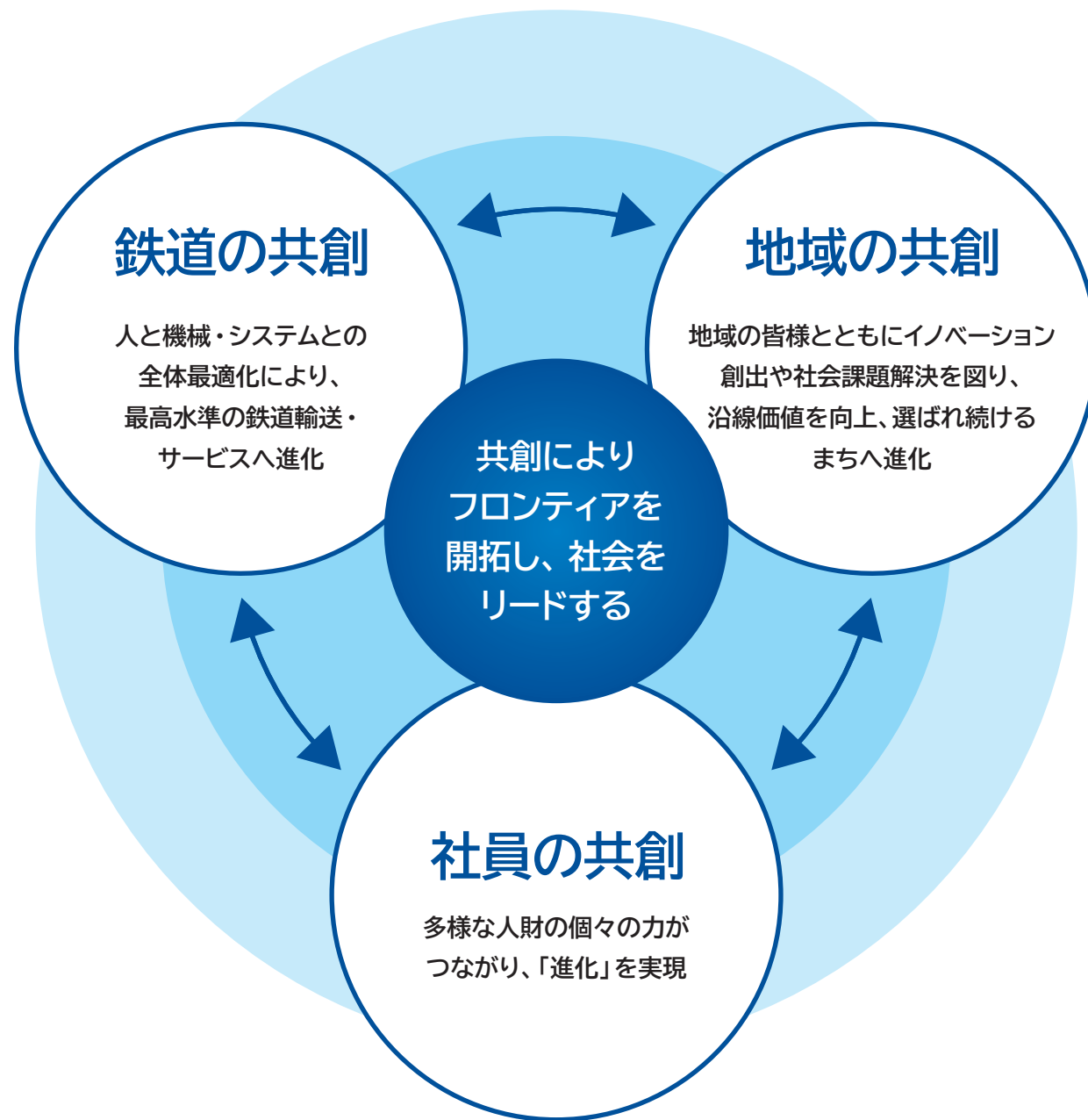
20駅の鉄道ネットワークを基盤に人・街・知をつなぎ、「TXコラボリング」により、沿線価値を共創していきます。今後とも時代とともに進化を続け、こうした地域の関係者の皆様とのコラボ型未来創造により、イノベーション先導や社会課題の先進解決で首都圏、日本、世界をリードするフロンティアを創造します。



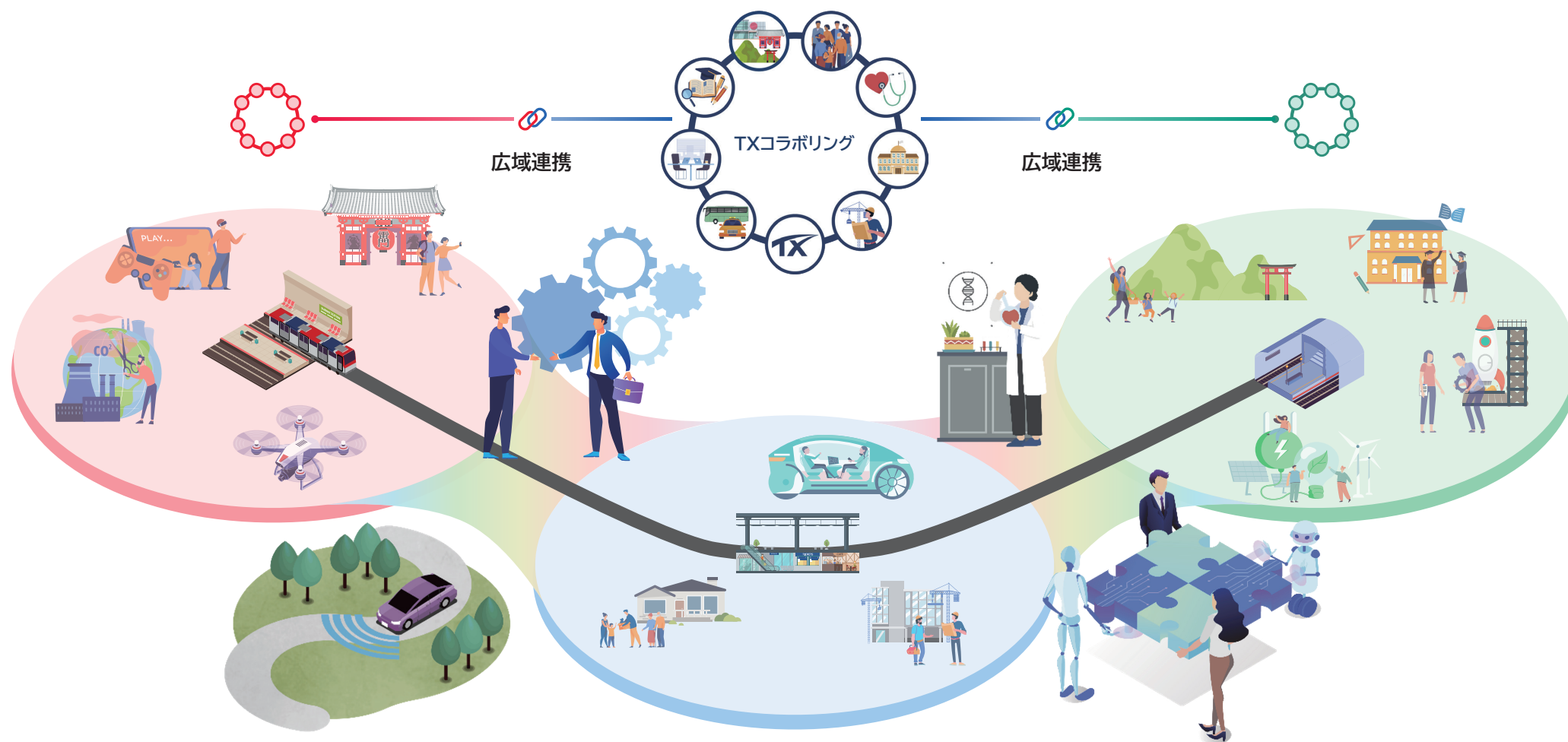
2. スローガン

TX 共創 フロンティア

～人・街・知をつなぎ、世代を超えて愛され、
進化を続ける鉄道～



地域の皆様とのコラボレーションにより、選ばれ続けるまちへと時代とともに進化



沿線の多様な魅力をつなぎ、
イノベーション先導や社会課題の先進解決によりフロンティアを共創

3. 外部環境を踏まえた 重要課題(マテリアリティ)

社会課題等のなかから当社との関連性が高い項目を抽出し、社内外での議論を通して重要度を精査して、5つの重要課題（マテリアリティ）を特定しました。

■ マテリアリティの特定プロセス

STEP1 | 社会課題等の網羅的把握、リスクシナリオの作成

ESG機関レポートや鉄道他社ベンチマーク調査等を参考に、当社との関連性が高い社会課題等を抽出し、リスクシナリオを作成
社会課題等の抽出やリスクシナリオの作成にあたっては、政府や沿線の自治体の各種計画等の基礎調査や社内検討会を実施

STEP2 | 定量／定性評価によるマテリアリティの精選

地域の関係者の視点／当社視点のそれぞれで評価軸を設定し、STEP1で抽出した社会課題等について定量評価のうえ、マップへの落とし込みを実施
定量評価の結果に加えて、定性的な観点からも確認を行い、重要度の高い19項目を絞り込み、体系立てて5項目に集約

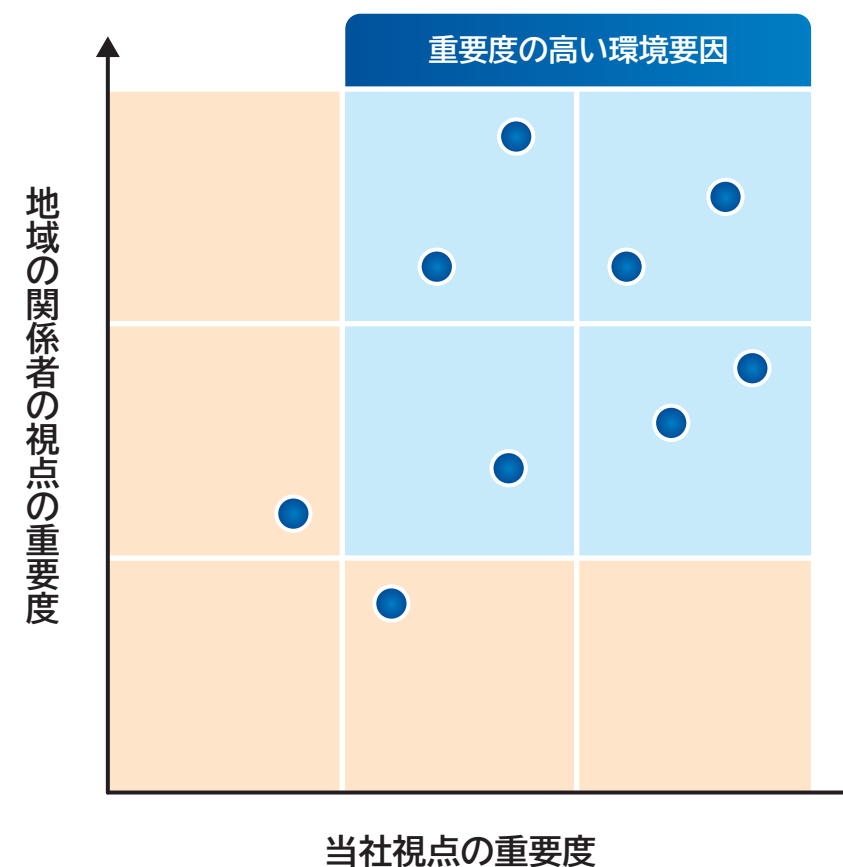
STEP3 | 経営層・社員／地域の関係者との意見交換による精査

経営層・社員との意見交換や、自治体や企業等の地域の皆様との意見交換会の実施による内容の精査

STEP4 | マテリアリティ特定

当社が優先して取り組むべき重要課題として、5つのマテリアリティを特定

■ マテリアリティマップのイメージ

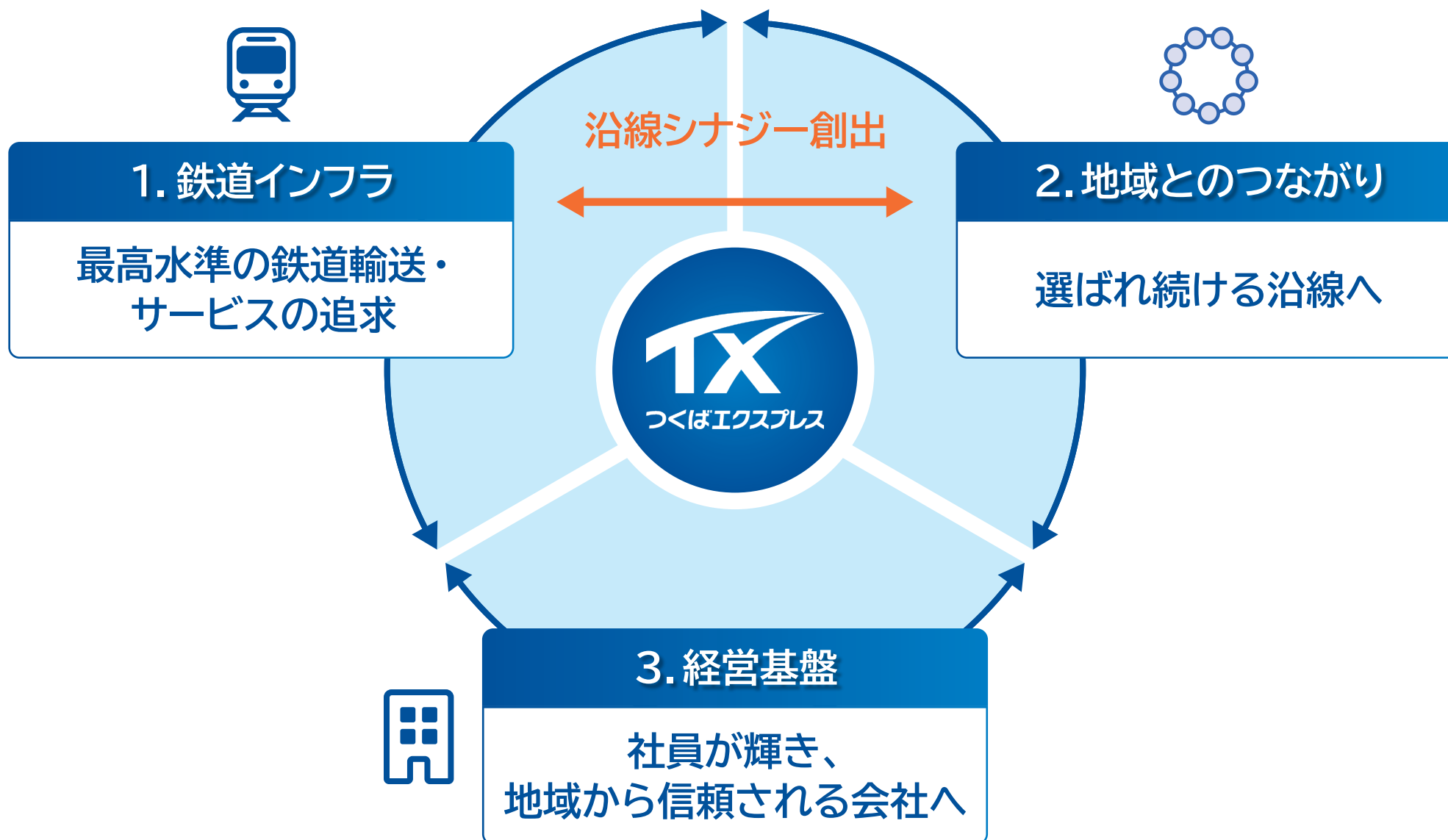


当社／地域の関係者に関連する社会課題等の解決を起点に、特定したマテリアリティを経営の中心に据え、社会課題等の解決を通じた持続可能な成長の実現を目指します。

外部環境変化	マテリアリティ	向き合う社会課題等				
多様な顧客ニーズへの対応	1 安心と信頼の輸送サービスの提供	安全・安定・安心な輸送サービスの提供	デジタル技術の発展	モビリティ技術進展	■ E：環境 ■ S：社会 ■ G：ガバナンス	
環境リスクへの対応 社会インフラの整備	2 強靱で持続可能な交通インフラの構築	自然災害の激甚化	気候変動リスク	環境に係る次世代技術への対応	インフラの老朽化	パンデミックの発生
沿線の発展可能性 多様で包括的な社会	3 地域の関係者と連携した、沿線の成長と地域共生社会の実現	人口減少、高齢化	人財・働き方の多様化	インバウンド増加	子育て環境の充実、QOL向上	
競争力強化に向けた取組み	4 広域的・分野横断的な産学官連携によるイノベーションの創出	産学官連携・イノベーション	国際競争力の低下	公・官民・市民のパートナーシップ強化		
グローバル経済の影響 ガバナンスへの対応	5 リスクマネジメントとガバナンスの構築	金融政策、為替変動リスク	地政学リスク	サイバー攻撃・犯罪の抑止	組織統治・適正な監査、不正等の是正	

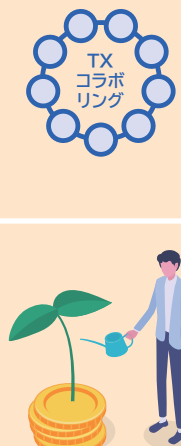
4. 基本方針

上記で特定した重要課題を踏まえて、当社の今後の経営方針を示す、3つの基本方針を策定しました。

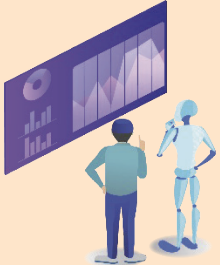
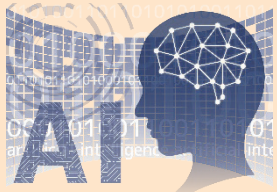


5. 事業戦略

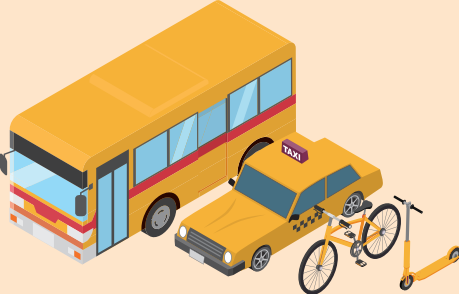
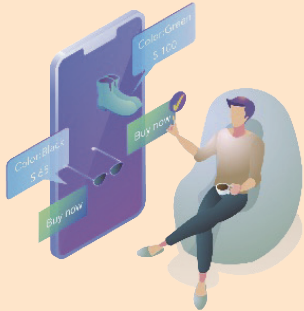
基本方針に基づく、事業戦略の全体像は以下の通りです。

基本方針		事業区分と取組みの方向性	
鉄道インフラ	最高水準の 鉄道輸送・サービスの 追求	鉄道輸送 ・高次元の安全性・安定性の実現 ・安全で災害に強くしなやかな交通インフラの構築 ・安心の駅空間の形成	 Designed by macrovector Freepik
地域とのつながり	選ばれ続ける沿線へ	サービス ・シームレスな交通環境への進化 ・多様なお客様が満足と快適を実感できる空間の提供	
経営基盤	社員が輝き、 地域から信頼される 会社へ	地域共創 ・駅・高架下からつながる沿線まちづくりへの貢献 ・広域的・分野横断的なイノベーション創出への貢献 ・時代やニーズの変化に対応した事業領域の拡大 ・国際競争力に資する取組みと国内外への情報発信の強化	 TX コラボ リング
		経営基盤 ・社員の成長と自己実現を後押しできる環境の整備 ・強固な財務基盤の構築と事業ポートフォリオの最適化による持続的成長の実現 ・盤石なリスク管理による安定経営 ・環境にやさしい持続可能な社会への貢献	

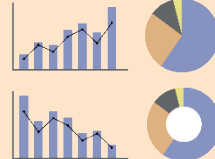
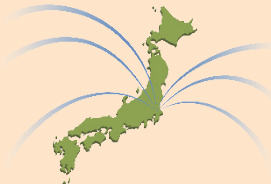
鉄道輸送では、「高次元の安全性・安定性の実現」、「安全で災害に強くしなやかな交通インフラの構築」、「安心の駅空間の形成」に取り組みます。

取組みの方向性		想定される取組み
01	高次元の安全性・安定性の実現	・人と機械・システムとの全体最適化による安全性・安定性の向上 ・現場力の育成・強化とスキルの高度化 ・予知保全に基づく保守による故障の未然防止 
02	安全で災害に強くしなやかな交通インフラの構築	・AI等を活用した災害リスクの予測と対策の高度化 ・異常時の迅速な復旧体制の構築と柔軟な適応力の強化 ・地域の関係者と連携した防災力の向上 
03	安心の駅空間の形成	・誰もが安心して利用できる駅設備の整備 ・一人ひとりに寄り添ったサービスの提供 

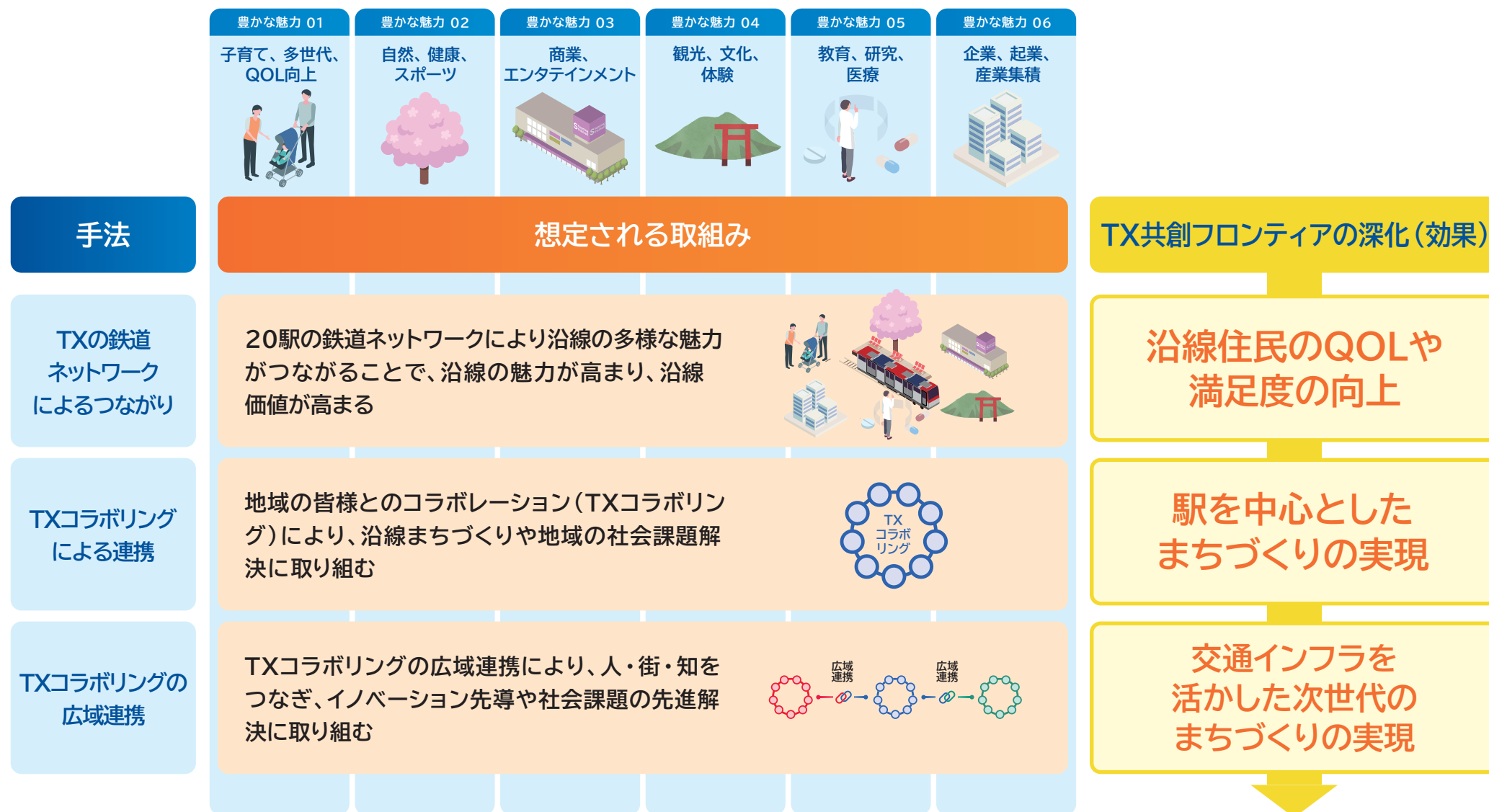
サービスでは、「シームレスな交通環境への進化」、「多様なお客様が満足と快適を実感できる空間の提供」に取り組めます。

取組みの方向性	想定される取組み
01 シームレスな 交通環境への進化	・利便性の高みを目指した交通サービスの実現 ・産学官連携による、利便性の高い二次交通体系の整備 
02 多様なお客様が 満足と快適を実感できる 空間の提供	・デジタル技術を駆使したパーソナライズ情報提供の整備 ・お客様や地域のニーズに対応した駅機能の進化 

地域共創では、「駅・高架下からつながる沿線まちづくりへの貢献」、「広域的・分野横断的なイノベーション創出への貢献」、「時代やニーズの変化に対応した事業領域の拡大」、「国際競争力強化に資する取組みと国内外への情報発信の強化」に取り組みます。

取組みの方向性	想定される取組み
01 駅・高架下からつながる沿線まちづくりへの貢献	・駅・高架下の高機能化 ・地域の皆様との連携の基盤づくり(TXコラボリングの構築) ・TXコラボリングによる沿線まちづくりや地域の社会課題解決 
02 広域的・分野横断的なイノベーション創出への貢献	・地域の皆様との連携の基盤づくり(TXコラボリングの構築)(再掲) ・TXコラボリングの広域連携によるイノベーション先導や社会課題の先進解決 
03 時代やニーズの変化に対応した事業領域の拡大	・マーケティングに基づく、沿線価値向上に資する事業展開 ・鉄道資産の利活用に加え、必要な資産の新規取得・活用 
04 国際競争力強化に資する取組みと国内外への情報発信の強化	・国や自治体等と連携した交通政策審議会答申プロジェクトへの対応 ・戦略的な情報発信による沿線のブランド化 

沿線の個性豊かな魅力を活かし、有機的な連携により、TX共創フロンティアの深化を目指します。



経営基盤では、「社員の成長と自己実現を後押しできる環境の整備」、「強固な財務基盤の構築と事業ポートフォリオの最適化による持続的成長の実現」、「盤石なリスク管理による安定経営」、「環境にやさしい持続可能な社会への貢献」に取り組みます。

取組みの方向性	想定される取組み
01 社員の成長と自己実現を後押しできる環境の整備	・誰もが柔軟に働き方を選択でき、その能力を最大限発揮できる職場環境の整備 ・社員の安全・健康を守る制度の強化 ・高度な専門スキルを有した人財の戦略的な確保・育成 
02 強固な財務基盤の構築と事業ポートフォリオの最適化による持続的成長の実現	・鉄道事業の生産性の向上とコスト構造の最適化 ・収益力向上に向けた事業領域の拡大 ・事業の成長を支える戦略的投資の推進 
03 盤石なリスク管理による安定経営	・包括的なリスク評価とモニタリングの強化による経営リスクの早期検知・対応 ・事業継続計画の不断の見直し ・技術力を確保する体制の構築 
04 環境にやさしい持続可能な社会への貢献	・鉄道カーボンニュートラルへの対応 ・カーボンニュートラル実現に向けた地域社会の取組みへの貢献 

6. ロードマップ

2025～2029年度
＜中期経営計画テーマ＞
安心と信頼の鉄道輸送の堅持と
沿線価値共創のための基盤づくり

～2050年
＜長期ビジョンスローガン＞
TX共創フロンティア
～人・街・知をつなぎ、世代を超えて愛され、進化を続ける鉄道～

	2025～2029年度	2030年代、2040年代	2050年
鉄道輸送	・リスク管理と安全管理体制の強化 ・予防保全による車両・設備の更新等の実施 ・防災・鉄道セキュリティ対策の強化 ・駅利用における安心の向上	・安全性・安定性に資する新技術への投資と人材育成 ・災害時における地域・関係事業者とのネットワークの強化 ・安心の駅空間の検討（投資、関連事業者との連携）	・高次元の安全性・安定性の実現 ・安全で災害に強くしなやかな交通インフラの構築 ・安心の駅空間の形成
サービス	・混雑緩和対策の実施 ・お客様の利便性・快適性の拡充 ・駅構内事業の充実	・他モードのモビリティとの連携 ・混雑緩和の実現、利便性・快適性を含めた高質なサービス・空間の提供	・シームレスな交通環境への進化 ・多様なお客様が満足と快適を実感できる空間の提供
地域共創	・沿線地域との連携強化のための基盤づくり ・駅機能や保有資産を活用した沿線価値の向上 ・交通政策審議会答申プロジェクトへの対応	・TXコラボリングによる沿線まちづくり構想等の策定・実施（モデル事例の推進、その横展開） ・新たな事業領域の探索と投資 ・国内外への継続的な情報発信	・駅・高架下からつながる沿線まちづくりへの貢献 ・広域的・分野横断的なイノベーション創出への貢献 ・時代やニーズの変化に対応した事業領域の拡大 ・国際競争力に資する取組みと国内外への情報発信の強化
経営基盤	・人的資本投資の強化 ・財務基盤の強化 ・ガバナンスの強化	・社員の成長や自己実現を後押しする環境への継続投資 ・安定経営のための事業ポートフォリオの構築 ・リスク管理体制の継続的な強化 ・エネルギーマネジメントの最適化	・社員の成長と自己実現を後押しできる環境の整備 ・強固な財務基盤の構築と事業ポートフォリオの最適化による持続的成長の実現 ・盤石なリスク管理による安定経営 ・環境にやさしい持続可能な社会への貢献



つくばエクスプレス
TSUKUBA EXPRESS

